

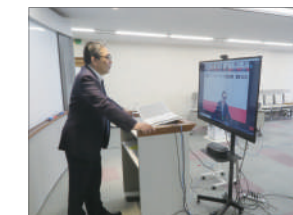


## 人材教育・制度

Human resource development & System

### ● 採用・研修のリモート化

事業の基盤である「人材」を採用・育成するため、積極的な採用と階層別研修の充実などに力を入れています。オフィスまでの距離や移動時間に縛られることなく、多様な人材を受け入れる体制づくりやコロナ禍において研修の機会ロスを起こさないために、採用・社内研修ではリモート化を積極的に推進しています。



### ● ダイバーシティ推進

#### 1. 女性活躍の推進

「女性活躍推進法」に基づき、女性の活躍推進に向けた行動計画を策定しています。女性営業職(キャリア)採用を拡充しているほか、グループ会社においても住宅営業、設計、インテリアコーディネーター、施工管理、アフターメンテナンスなどあらゆる分野で女性が活躍しています。



#### 2. 障がい者雇用枠の拡大

ハンディキャップに関わらず自立した生活ができるよう、障がいのある方のさらなる雇用と定着を目指しています。それぞれの特性に合った業務の検討、就労定着のフォロー体制の整備などに積極的に取り組んでいます。



#### 3. 高齢者雇用への取り組み

高齢化が進み人生100年時代といわれる中、60歳定年後の就労問題の解決および人材の活用を図るため、定年後再雇用制度を取り入れています。75歳定年制度を設けているグループ会社もあり、本人の希望や健康状態に配慮しながらセカンドキャリアのサポートができる体制を整えています。



### ● 社内表彰・報奨制度

一年間を通して高い営業成績の基準に到達した従業員を「エース社員」として表彰する「ナックエースクラブ」や、事業部ごとの報奨旅行、長年ナックグループに貢献してくださった従業員の方へ、その功績を称え感謝の気持ちを表す「永年勤続表彰」などがあります。これらのような表彰・報奨制度を設け、組織の活性化と従業員の仕事に対する意欲の向上に取り組んでいます。



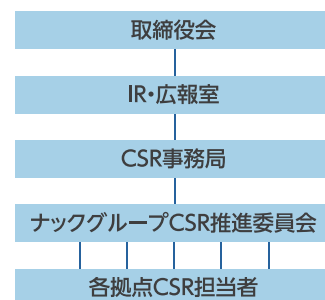
## CSR推進

CSR promotion



### ● CSR推進体制

未来への持続性を意識した事業運営を積極的に行うため、社内にナックグループCSR推進委員会を設置しています。ナックグループCSR推進委員会は、IR・広報担当の取締役1名と、各事業から選出されたメンバーで構成されており、組織横断的な活動を行っています。委員会内での議論や活動内容については、年に4回、取締役会にて報告し、今後の方針や具体的な施策について検討・決定を行っています。



### ● CSR活動紹介

#### 被災地への復興支援

台風や地震発生時には被害に遭われた皆様の支援を目的に、会社の従業員から義援金を募っています。集まった金額と同額を会社が上乗せする「マッチングギフト」による義援金を拠出し、ナックグループ各協力会社や被災地の各災害対策本部へ寄付しています。



#### ベルマーク寄贈

第51期分の寄贈で、活動開始から14年目を迎えるベルマーク収集。1点あたり1円として集計されたベルマーク預金は、主に学校の設備や教材の購入費として使用されています。

「すべての子供に等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」という想いのもと、今後も引き続き、国内外でハンディキャップを背負いながら学ぶ子供たちへの支援を行っていきます。



#### 日本赤十字社への貢献

献血は多くの患者を救うことができる、非常に貢献度の高い活動です。社内では無理のない範囲での協力を呼び掛け、集団献血の実施時には多くの従業員が参加しています。

また2019年に、日本赤十字社への一定以上の活動支援を行った法人に贈られる「金色有功章」もいただきました。



### ● 社内浸透活動

地域清掃や打ち水、ベルマーク収集などの小さなCSR活動を「ちょいボラ(=気軽に取り組めるボランティア活動)」と名づけて取り組んでいます。

環境省が推進する「fun to share」にも賛同しており、毎年社内ではライトダウンキャンペーンやオフィスでできるエコ強化月間を実施しています。

また教育面では、社内イントラネットを活用したCSRに関する情報発信(「CSR通信」の発行)や、eラーニングでの研修実施など、CSRへの理解促進を図っています。

